

三芳町まちづくり懇話会 報告書

令和8年度
(令和8年9月)

1. まちづくり懇話会 概要報告

住民の皆さんの声を町の政策形成に反映させるため、各行政連絡区のご協力のもと、まちづくり懇話会を開催しました。今年度は、行政連絡区毎に集会所にて開催し、5日間合計で200人以上の方にご出席いただきました。今年度は町からの情報発信として「子どもにやさしいまちづくりの取組」、「藤久保地域拠点施設整備」等について町長より説明をしました。

その後の意見交換の時間には、会場から活発なご意見やご質問をいただきました。いただいたご意見は、今後のまちづくりへ活かし、町の政策形成に反映してまいります。



開催日		開催時間	行政連絡区	開催場所	参加者数 (人)
6月	20日 (土)	10:00~11:30	竹間沢第1区	竹間沢第1区集会所	20
		13:00~14:30	北永井第3区	北永井第3区第1集会所	20
		15:30~17:00	みよし台第1区	みよし台第1区集会所	25
		18:00~19:30	藤久保第2区	藤久保第2区集会所	24
	21日 (日)	10:00~11:30	上富第3区	上富第3区第1集会所	11
		13:00~14:30	藤久保第3区	藤久保第3区第1集会所	20
		15:30~17:00	藤久保第4区	藤久保第4区第1集会所	16
	27日 (土)	13:00~14:30	藤久保第5区	藤久保第5区第2集会所	8
		15:30~17:00	上富第1区	上富第1区集会所	15
		18:00~19:30	上富第2区	農業センター	10
	28日 (日)	10:00~11:30	藤久保第6区	藤久保第6区集会所	12
		13:00~14:30	北永井第2区	北永井第2区集会所	11
		15:30~17:00	北永井第1区	北永井第1区集会所	36
7月	4日 (土)	10:00~11:30	藤久保第1区	藤久保第1区第2集会所	13
参加者数合計					241
一会場あたりの平均					17

2. まちづくり懇話会 当日意見・質問

まちづくり懇話会当日に住民の皆さんからいただいたご意見やご質問については、以下のとおりとなります。

分野別意見割合

分 野	意見数	割合
道路	29	24.0%
自治・防犯・防災	23	19.0%
都市計画	12	9.9%
まちづくり全般	11	9.1%
環境	11	9.1%
教育・文化	8	6.6%
小学校跡地利用	7	5.8%
拠点施設	6	5.0%
公共交通	5	4.1%
道の駅	5	4.1%
健康・福祉	4	3.3%
合計	121	100.0%

当日のご意見・ご質問に対する町の見解

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
1	まちづくり全般	竹間沢第1区	三芳町では国際交流やCFCIなど、新しい取組に注力をしている。町の人口が減少する中、町として検討している移住促進策を教えてほしい。	三芳町は東京から30km圏内でありながら、緑が豊かなことが魅力です。 長年、20代後半から40代の子育て世帯も多数移住しています。「ルミナみよし」といった新しい施設の整備に加え、CFCIや国際交流など、ソフト面でも子どもたちが成長できる機会の創出にも注力し、引き続き新しい取組についてもしっかりと情報を発信してまいります。
2	道路	竹間沢第1区	スーパーマーケットから唐沢小学校へ向かう都市計画道路の整備を進めていただいているが、唐沢小学校あたりの交差点において、一部着工していない未整備の部分が見受けられる。周辺道路の安全性や利便性にも関わるため、現在の土地取得状況などの進捗や、今後の見通しについて教えてほしい。	ご質問の未着工区間(約400m)の道路築造工事については、令和8年9月に工事契約を締結予定であり、令和9年度末までの工事完成を目指して整備を進めてまいります。
3	自治・防犯・防災	竹間沢第1区	トクリュウを筆頭に最近、凶悪犯罪が増加している。対策として、町として防犯のまちづくりを進めていくことをアピールすることが重要であると考え。事業者にも費用の半額を補助して防犯のまちづくり宣言や設置カメラ台数等を対外的にアピールすると犯罪の抑止にもつながる。	2市1町で東入間警察署と連携し、防犯のまちづくりを進めています。 青色パトロールにも取り組むほか、防犯カメラ等の補助を対象とした三芳町住宅防犯対策補助金を昨年度より導入しました。学校や公園、集会所についても地域の方のご要望を聞きながら、順次設置をしています。ご質問を受け、取り組みを対外的に発信することは重要であると感じたため、担当課とも協議を進めてまいります。
4	自治・防犯・防災	竹間沢第1区	みずほ台住宅の行政連絡区加入率が1/4程度となった。三芳町全体の加入率も減少していると聞いている。しかしながら、行政連絡区が地域コミュニティの形成において非常に重要であると考え。行政連絡区でも若者の加入促進策を検討しているが、うまくいっていない。若者が地域活動へ目を向ける施策を検討してほしい。	町としても地域コミュニティの活性化は重要だと考えており、その中で、地域コミュニティ活性化補助金を通じたイベント企画、Wi-Fi整備などを進めています。 こども計画（39歳まで）の検討委員として若い人も参加しており、地域活動に関する意見も寄せられていました。若い人が持っている意見を聞いていきたいと考えています。
5	都市計画	竹間沢第1区	竹間沢通西地区土地区画整理について、早急に国や県との農林調整を進めてほしい。	令和6年度には業務代行予定者が選定されていますので、町としてもすでに国・県との協議を進めております。引き続き竹間沢通西地区土地区画整理組合設立準備会による事業進捗状況を把握しながら、適切なタイミングで協議を進め、今後も継続して円滑な組合設立認可に向けて国・県と調整を進めてまいります。
6	道路	北永井第3区	三芳スマートICの出入口周辺において、朝や夕方の通勤・通学時間帯に非常に激しい渋滞が発生している。周辺道路への影響だけでなく、スムーズな通行や安全確保に支障が出ているため、出入口に信号を設置することはできないか。	令和6年度に幹線道路における交通量調査を実施いたしました。交通量調査の結果を踏まえ、信号の設置についての警察協議を行ったが設置が認められなかった経緯がございます。今後も引き続き交通状況を注視しつつ、必要に応じて要望を行ってまいります。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
7	道路	北永井第3区	北永井第3区の集会所前にある道路のマンホールについて、道路面に対して頭が浮き上がっている状況が見受けられる。歩行者のつまずきや、自転車・自動車が乗り上げた際の走行時の安全に支障が出ており危険なため、現地の状況を確認いただき、早期の修繕対応をお願いしたい。	現地を確認したところ、発生してる事象はマンホールの浮き上がりではなく、経年劣化、破損による舗装面の沈下が原因となっておりました。そのため、周辺の舗装破損箇所も含めた舗装版打換えによる修繕工事を早期に実施したいと思います。
8	自治・防犯・防災	北永井第3区	集会所は一時避難場所となるなど、高齢者や子どもが使用する施設であるため、AEDを新規設置してほしい。	行政連絡区への支援の中で、必要な集会所にAEDを設置することも含め、支援メニューの見直しを進めたいと考えております。
9	自治・防犯・防災	北永井第3区	1次避難場所が集会所、2次避難場所が三芳小学校であるが、避難所移動の際に危険が伴う。そのため、集会所を避難所としてほしい。近くに高い建物もなく、かつ距離も近いため。	現在、各一時避難所に参集後、指定避難所への移動となります。長期間の避難所対応となると避難所の運営や物資搬入など様々対応が必要となるため指定避難所での避難が必要となりますが、一時避難所での対応も各避難所エリアの意見も伺いながら、今後検討していきたいと思えます。
10	都市計画	北永井第3区	三芳町の魅力は豊かな自然であるが、その自然がだんだん減っている。せっかくの木が伐採されており、それが倉庫や工場となってしまっている。旧給食センターの跡地には何ができるのか。今後の開発計画を教えてください。	みどり共生産業ゾーンの工場建設において、町は一定基準の緑の整備を求めているが対応状況はまばらとなっております。そのため、町として同時並行で役場周辺の土地を購入し、平地林創生に取り組むなど、緑豊かな町としての開発を進めたいと考えています。また、旧給食センターの跡地には、倉庫が建設される予定です。
11	環境	北永井第3区	北永井第3区の集会所のグラウンドの奥にて、民有地から伸びたつる植物がフェンスに絡まった。行政連絡区にて地権者へ連絡の上、都度対応をしている状況である。対応を町で行ってほしい。	町から地権者に連絡したところ、「今後、地権者により対応する。」との回答がございました。
12	環境	北永井第3区	三芳団地の北側にふじみ野市内の森林がある。その中の木々が枯れて、道路へ倒れた事案があった。その後、枯れそうな木について町へ連絡をしたが、対応してくれなかった。以降、再度、木が枯れて道へ倒れ、車にも傷がついた。事故後、町は早急に対応してくれたが、事故になる前に対応すれば防げた。	町内の平地林等において倒木や落枝により他者の所有物への危険性があるところのご連絡をいただいた場合、職員が現地確認した上で、民有地間であれば環境課から、町道への越境であれば道路交通課から所有者に適正管理のお願いをするなど対応しております。今回の三芳団地北側のふじみ野市内の森林における倒木によりご迷惑とご心配をおかけしたこと、心よりお詫び申し上げます。担当課といたしまして、対応を怠っていたわけではなく、現地を確認のうえ、当該土地の所有者様に何度も伐採のお願いをしておりました。所有者様からは伐採の意思がある旨をお伺いしており、専門業者への依頼も済んでいるとの回答をいただき、時間はかかるものの対応が進められている状況であると承っておりました。現在では問題の枯木は伐採済みとなっておりますので、ご安心いただければと存じます。今後も地域の安全確保を最優先に、所有者様と連携し、適切な管理を続けてまいります。何かお気づきの点やご不明なことがございましたら、どうぞ遠慮なくお知らせください。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
13	自治・防犯・防災	北永井第3区	ゴミ集積場問題に対し、毎月5千円払って土地を借りて対応している。自治会離れ及び外国人の投棄など、課題がある。自治会費を払っていない人も捨てられる状況となっている。自治会費が毎月300円。町へ相談をしても許可は得られなかった。もし、町からよい提案があればご指導願いたい	ごみ集積場に関しましては、他行政連絡区でもご意見をいただいております。町全体としての課題であると捉えております。地域の皆さんに任せきりとするのではなく、町としての対応を検討してまいります。
14	教育・文化	北永井第3区	上富小学校の準備会について。学校準備委員会会議にて、スクールバス等の検討を行うと説明があった。検討を進めるにあたり、各小学校の生徒へしっかりと意見を聞き、反映することが重要である。意見聴取の方法等を教えてほしい。	三芳小と上富小の統合に伴う準備を行うにあたっては、当事者の声を取り入れることが重要であると考えております。保護者や児童などに対するアンケート調査や意見聴取を行い、それを基に準備委員会で協議を行う予定です。
15	教育・文化	北永井第3区	中学生の息子がいる。三芳中学へ自転車通学をしているが、帰り道にトラック同士のすれ違いを避ける形で、傷の残るケガを負ってしまった。利便性の観点で自転車通学は大変ありがたいが、安全確保策を検討してほしい。スマートICができて以降、トラックが走ることが増えており、危険が増している。 また、中学校へ向かう際にコンビニエンスストアから、自転車通学と徒歩通学の生徒が混同するため、自転車通学の生徒も自転車を押して歩くこととなっている。各通学の生徒が混同してしまうと、幅が広がってしまい、危険が増している。自転車通学と徒歩通学の生徒を区別した運用を取ることはできないか。（自転車通学生徒は左側通行、徒歩通学生徒は右側通行など）	今年度は、通学路安全総点検の実施年度となっております。その結果等について学校と情報共有を行いながら、必要に応じて関係課等とも連携を図り、各学校の児童生徒が安全に登校できるよう対策を検討してまいります。 また、自転車通学と徒歩通学の生徒を区別した運用について、それに伴う新たなリスクの可能性も踏まえながら、三芳中学校と協議の上、検討してまいります。
16	小学校跡地利用	北永井第3区	上富小学校の跡地活用にて、道の駅の話があったが、跡地は教育施設だと考える。上富小学校は上富エリアの重要な文化施設でもあり、あくまでも校舎である。今後の検討として、商業施設とするのではなく、子どもから高齢者まで地域の人が集える教育施設、生涯学習施設とすべきと考えますし、歴史・文化を残して発信してほしい。 また、商業施設とした際に車の流入がさらに増加してしまうと生活で不便となる。	上富小学校の跡地利用につきましては、既存校舎を活用し、初期投資を抑え需要に応じて段階的に規模を拡大する「スモールスタート」の手法を重視して、検討してまいります。 また、政策研究所の提言書では、地域社会全体で子育てを支える「あたたかい居場所」や生涯学習支援施設等のご意見が出ていることから、町として望ましい施設や機能の実現に向けて検討を進めてまいります。
17	道路	北永井第3区	町内の街灯（外灯）がLED化されたことにより、夜間でも町全体が明るくなり、住民が安心して歩けるようになりました。また、電球交換の手間やそれに要する時間も大幅に減っているとのことで、迅速に対応していただき大変助かっております。	承知いたしました。
18	まちづくり全般	北永井第3区	町役場庁舎の今後の計画を教えてください。建設以降、年数が経っている。	三芳町役場庁舎につきましては、平成6年（1994年）に建設してから約30年が経過しております。今後は、予防保全的な修繕対応を図りながら、現施設を維持してまいります。
19	道路	北永井第3区	過去に「私道のため修繕の対応ができない」と説明を受けていた道路について、このたび町で買い上げていただき、綺麗に修繕・整備を完了していただいたことに大変感謝しております。地域住民も安全に通行できるようになり、大変喜んでおります。	承知いたしました。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
20	公共交通	みよし台第1区	みよし台第1区の高齢化が進む中で、通院手法の改善を望む。通院したくてもタクシーは来ない、免許は返納済みであり通院の足がない。イムス三芳の受付が始まる10時までに到着したいが、現在の時刻予定では10:15頃。対応が難しいことは承知しているが、検討を進めてほしい。	イムス三芳総合病院の受付が始まる10時までに到着したいというご要望は個別にいただいております。本件も含めてダイヤ改正の検討を行ってまいります。
21	公共交通	みよし台第1区	MIY0バスが満員時、予備車が来ることとなっている。しかしながら、猛暑のときなどは待ち続けることはできない。 また、MIY0バスのパンフレットやHPにて説明の記載があるが、事業目的に関する内容の記載が薄い。事業意義等も含めて案内してほしい。	MIY0バスについては、実証運行を1年延期し、順次改善を行っております。利用者からいただいた意見を真摯に受け止めながら、できる対応を進めてまいります。
22	公共交通	みよし台第1区	MIY0バスの土日運航についても検討してほしい。	利用状況と費用を鑑み、検討を進めてまいります。
23	都市計画	みよし台第1区	2市1町の合併の計画を聞きたい。他市の施設を利用するときに不便である。	三芳町は過去、財政的な不利益を理由に合併を見送った経緯がございます。 仮に合併していた場合、三芳町エリアの重要性は低くなり、世界農業遺産やスマートICなどの事業を実施できなかったと考えられますので、合併しなかったからこそできた取組は多いと思われます。施設の相互利用につきましては、他市と協議を進めたいと考えております。
24	まちづくり全般	みよし台第1区	三芳町の人口を増やす取組みを聞きたい。	鉄道駅を持たないことから人口は微減しています。町の3分の2が市街化調整区域のため、宅地開発が難しいことが主な理由です。三芳町の魅力は、都市近郊でありながら豊かな自然があることであり、30代40代の子育て世帯は増加しています。この強みを残しながら、32,000人を目安に人口を維持していきたいと考えております。
25	自治・防犯・防災	みよし台第1区	今年度集会所の改修計画があると聞いているが、みよし台第1区的女子トイレのドアの鍵が壊れている。改善を求めたい。	現状を確認しましたので、今年度予定しています大規模改修工事内、もしくは単独での修繕を検討してまいります。
26	自治・防犯・防災	みよし台第1区	集会所のエアコンが故障し、クーリングシェルターとして機能しなかったことがある。クーリングシェルターとして機能するよう検討してほしい。	みよし台第1区の集会所エアコンについて、修繕を行いました。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
27	自治・防犯・防災	みよし台第1区	みよし台第1区の運営委員会について、課題がある。みよし台第1区をはじめ、行政連絡区の加入率は低下をしている。区費を払わなければ、役員の仕事が回ってこない等の抜け道が蔓延しているほか、区費を払うメリットがないことも要因である。また、4年から10年のサイクルで役員の担当となっても、業務が分からないため行政連絡区としての業務が回らない課題がある。そのような状況であり、このままだとみよし台1区の自治組織が崩壊してしまうと考える。 自治体によっては、自治会や町内会に対する支援事業を立ち上げるケースもあると聞く。自治会は任意団体であると理解をしているが、町がどこまで自治会運営に対して支援をしていくのか考えを聞きたい。	自治会の負担軽減策として、地域コミュニティ活性化補助金を試験的に実施する等、自治会運営の負担を減らす取組を開始しております。引き続き、検討をしてまいります。
28	自治・防犯・防災	みよし台第1区	町の条例と区の規定に差異がある。町の条例では「集会所の利用料は無料」となっているが、みよし台第1区の規定では、利用料を支払わなければ集会所を利用することができないと記載がある。区の規定については昨年度変更をしたが、45年前に作った規定の通り残存している状況である。実態に即して規定を変更したいと考えているが、その際には町から助言等をいただきたい。 なお町の助言にて、利用料という文言から管理料として徴収するよう依頼があり、対応を行ったが、町の条例についても変更をしてほしい。	条例と区規定の差異について、ご相談いただいたことをきっかけに、区長会にて対応を検討させていただきました。その中で、利用料ではなく管理料として徴収していただくこととなり、ご対応いただいたところです。区の規定については、時代の実態に即して変更すべきと考えており、区長会の定例議会にて議論させていただきたく存じます。 なお、本件については個別具体的なお話であるため、別途場を設けて議論させていただきたいと考えております。
29	道の駅	藤久保第2区	ルミナみよしや道の駅などの大型事業が続いており、町の財政状況が心配である。また、道の駅の予定地は藤久保からは遠いため、移動手段を確保して住民も行きやすい、足を運びたくなる施設としてほしい。	道の駅について、財政シミュレーションでは問題がないと結果が出ております。しかしながら、中東情勢による物価高騰等、先行きの見えない状況もあり、議会での議決を受けて、道の駅整備を一時保留としました。今後は、上富小学校の跡地利用の検討状況など、広く意見を聴きながら、全体を鑑みて慎重に取り組みたいと考えております。 また、移動手段の確保については、交通ネットワークの整備も併せて検討を行ってまいります。
30	自治・防犯・防災	藤久保第2区	藤久保第2区は人口も多いうえ、行政連絡区の加入率も高いため、集会所に多くの人が集まる。防災拠点ともなるため、集会所の前に防災用の広場が欲しい。他集会所では広場があることが多い。広場や公園の近くに集会所を移転してはどうか。 今まで通り、藤久保小学校の避難場所は藤久保第2区、3区、5区、6区が使用するのか。	藤久保第2区周辺は住宅が密集しておりますので、新たな用地確保は難しい状況となります。周辺公園等の活用を検討してまいります。 また、ルミナみよしの供用開始に伴い、今後の避難訓練の有効性等を考慮するとともに、藤久保小学校の避難所運営マニュアルの見直しを行います。
31	教育・文化	藤久保第2区	藤久保第2区ではグラウンドゴルフの実施場所がない。藤久保5区の集会所の広場を1週間に一度借りている状況。しかしながら、グラウンドゴルフの大きい道具を持って移動することは危険を伴う。藤久保小学校の代替グラウンドの1/4区画で良いので、グラウンドゴルフの土地としてほしい。	事前質問作成の際に、地権者にも確認しており、現行の管理は町（学校）であるものの、学校運営のための代替地としての借受にて「一般向け」は難しいものと考えます。新校庭については「学校開放に伴う開放施設の使用に関する規程」に基づき、使用可能になるものと考えます。
32	拠点施設	藤久保第2区	ルミナみよしについて。学校と共有部分の繋がり（メディアブリッジ等）のセキュリティが不安。	小学校と公共施設が建物内で接しているところは、施錠状況がシステムで確認できる電気錠付きの扉でセキュリティを行っております。屋外広場（みらい広場）に面する特別教室については、学校用の強化ガラスが入る扉で区画されているとともに、目隠し用のカーテンなどが設置されています。実際の運用では、広場内に授業中は立ち入り禁止のエリアを作るなどは学校と協議しながら進めてまいります。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
33	公共交通	上富第3区	人口減少かつ高齢化が進む上富エリアにおいて、免許返納等により病院へ行く足がないと聞く。そのため、MIY0バスの本数の増便を望む。	運行状況を注視しながら必要な検討をしてまいります。
34	まちづくり全般	上富第3区	町の実組の発信手法の一つでアニメを使つてはどうか。秩父や川越ではアニメを活用した情報発信に取り組んでいる。	一例として、参考とさせていただきます。
35	小学校跡地利用	上富第3区	観光地として、海や山、文化がキーワードに挙がるが、三芳町には無い。地割を目玉とするのでは、学校校舎よりも高い建物が必要と考える。どのような戦略があるのか。	東京近郊において、三芳町ほど緑が残されている自治体は珍しく、後世に残すべき文化遺産として世界農業遺産にも認定されております。上富小学校の屋上を活かしながら、ミュージアム機能などで効率的に情報発信することを検討してまいります。
36	道路	上富第3区	スマートICの出入口に信号機がないため、無理な右折車両の発生や、それに伴う慢性的な渋滞等を引き起こしており非常に危険な状態だ。事故が起きてしまう前に、安全な交通誘導を目的とした信号機の設置が必要ではないかと考えているが、町の見解を伺いたい。	三芳町としても安全性を高めるために信号機設置は有効であると考えており、交通管理者(警察)と協議してきております。今後も引き続き設置へ向けた要望をしてまいります。
37	道路	上富第3区	スマートICの出入口や多福寺交差点、三芳中学校、三芳小学校の各交差点において、右折待ちの車両による渋滞が多く発生しています。直進車だけでなく右折車も安全・スムーズにはけるよう、矢印などの右折の補助信号に対応した信号機への改良を要望する。	令和6年度に幹線道路における交通量調査を実施いたしました。交通量調査の結果を踏まえ、ご指摘の交差点については右折矢印信号の設置についての警察協議を行いました但設置が認められなかった経緯がございます。また、右折矢印信号を設置するには、右折レーンが必要となる場合がございます。三芳小学校の交差点は県道と町道が交差する交差点になることから右折レーン設置などの交差点改良を埼玉県に要望しているところです。今後も引き続き交通状況を注視しつつ、関係機関への要望を行ってまいります。
38	道路	上富第3区	町内の一部の歩道について、拡幅の検討をお願いする。特に三芳中学校前の道や、上富第3区集会所の前の道路、三芳小学校近く（JA農協から消防署へ向かう道）などは、大人1名が通るのがやっとの幅しかなく危険な状態である。児童・生徒や歩行者の安全確保のため、歩道を広げる計画についてどう考えているか。	歩道整備や拡幅には道路用地の新規取得が必要であり、地権者の協力がなければ実現は難しいと考えておりますが、安全確保へ向けた対策は必要であると考えております。ご指摘の箇所は主に県道と思われますので、川越県土整備事務所へ状況を説明し、安全性の確保へ向けた対策を検討するよう要望いたします。
39	都市計画	上富第3区	市街化調整区域の決定者は誰か。	市街化区域と市街化調整区域に分かれる区域区分は、無秩序な市街化の拡大を防ぎ、計画的にまちづくりを進めるために埼玉県によって定められています。この区域区分は、人口や土地利用の見通し、都市基盤の整備状況などを総合的に勘案し、埼玉県と関係市町である三芳町、富士見市、ふじみ野市とで協議し決定しているものです。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
40	道路	上富第3区	高速道路（上り方面）の出口付近について、パサール三芳（PA）へ向かう車と、一般道へ下りたい車が交錯し、激しい渋滞が発生している。ドライバーが直感的に車線を選択できるよう、道路上に色等をつけて識別しやすくする（カラー舗装などの）改善を行ってはどうか。	高速道路につきましてはNEXCO東日本の管轄となりますので、NEXCO東日本へ相談させていただきます。
41	道路	上富第3区	パサール三芳の従業員駐車場において、パサール三芳へ向かって道路を危険に横断する人が多く見受けられる。おそらく正規の横断歩道が遠いことが原因と思われるが、事故に繋がるリスクが高いため、歩行者の安全を守るための対策や誘導について検討してほしい。	いただきましたご意見を踏まえ、当該従業員駐車場の管理会社へ連絡し、従業員の皆様に対して必ず横断歩道を利用するよう指導・周知していただく対応を進めてまいります。
42	教育・文化	上富第3区	PTAを除くと給食を大人等が食べられる施設がない。給食づくりを見学でき、且つ、食べられる取組を検討してほしい。三芳町外からの人の呼び込みも期待できる。	給食センターと中央公民館が隣接しており、見学可能となっております。給食づくりの見学には対応しているものの、一般の方が給食を食べられる取組については行われておりません。ご提案いただいたことを検討してまいります。
43	教育・文化	上富第3区	子どもにきれいな泥遊びをさせたいという親のニーズは多いと思う。整備をするともに、うまく情報発信してほしい。	令和8年度は、年間9回のプレーパークを計画しており、緑地公園や北永井児童館広場をその活動場所として選定し、泥遊びもできる環境を設定しています。周知方法として、児童館や公民館といった子どもの集まる施設でのポスター掲示や広報誌の掲載、SNSや電子母子手帳を活用した情報発信を行っております。
44	健康・福祉	上富第3区	若年層の移住強化を目的に、出産の無痛分娩の助成をしてはどうか。無痛分娩のニーズは高いと聞く。	無痛分娩は、不安なくお産を迎えるための選択肢の一つとして近年増加傾向にあります。無痛分娩は保険診療の対象外であり、自費診療として分娩という自然な生理現象に対する医学的介入でもありますので、すべての妊婦に対する医療的必要性については確立した見解はなく、母体へのメリット及びデメリットも含め様々な検討がなされているところでございます。母体への負担軽減や安心な出産環境の構築という観点から、無痛分娩を取り入れている産科医療機関も多く存在していますが、通常分娩と比較すると10万円～20万円ほど追加で費用がかかる状況です。現時点で、近隣市町で補助を導入している自治体はなく、医学的適応の不確定性など様々な議論されている現状から、引き続き、国や県の動向を注視していきたいと考えております。
45	都市計画	上富第3区	上富エリアにおいて公園等の憩いの場がほしい。近くとなると航空公園など、距離が遠い。緑があり、散歩ができる施設を期待する。	上富小学校の跡地を利用するなど、望ましい施設や機能の実現に向けて、初期投資を抑え需要に応じて段階的に規模を拡大する「スモールスタート」の手法を重視し、施設の耐用年数を見据えた適切な整備を進めるよう、住民の皆様からご意見を伺い、検討委員会を立ち上げて検討してまいります。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
46	小学校跡地利用	上富第3区	上富小学校の跡地活用において、三芳町の特産品を活かした学校給食を提供する取組で地域振興に繋がったら良い。また、上富小学校から見える地割を他市町村の学生が見学に来ることも多い。引き続き、強みとして活かしてほしい。	学校の跡地利用につきましては、望ましい施設や機能の実現に向けて、初期投資を抑え需要に応じて段階的に規模を拡大する「スモールスタート」の手法を重視し、施設の耐用年数を見据えた適切な整備を進めるよう、住民の皆様からご意見を伺い、上富地域の強みを活かせるよう検討してまいります。
47	小学校跡地利用	上富第3区	上富小学校の校舎は残るのか。まるっきり建替えとなるのか。	上富小学校の跡地利用につきましては、既存校舎を活用し、初期投資を抑え需要に応じて段階的に規模を拡大する「スモールスタート」の手法を重視して、検討してまいります。
48	まちづくり全般	上富第3区	子育て世帯の流入の増減を教えてほしい。 都心に近いながらこれだけの自然があることは強みであると認識しているが、遊びに来ても三芳町内には宿泊施設はないため、泊まることができない。子どもの塾や習い事などで駅へ行く足がないため、MIY0バスを接続させたりすると、子育て世代が来やすい環境ができると思う。 東京で生まれた子どもに対して自然体験をさせたい親のニーズは高いと思う。地域振興の中で魅力を伝えることで、観光業から雇用が生まれ、働く場所もできて、子育て世代が入りやすくなると思うので、そういう住民が定着する循環を作ってほしい。	子育て世帯の増減につきましては、直近1年間では微減となっております。 令和10年度に予定している上富小学校の統廃合に伴い、上富小学校の跡地利用について今後検討を進めてまいります。検討の際には、政策研究所の提言書の内容を参考に地域社会全体で子育てを支える「あたたかい居場所」や生涯学習支援施設等の町として望ましい施設や機能の実現に向けて検討を進めてまいります。
49	まちづくり全般	藤久保第3区	他の行政連絡区で出た質問を確認することはできるのか。	後日、報告書を三芳町ホームページへ掲載いたしますのでご覧ください。
50	自治・防犯・防災	藤久保第3区	防災に関する予算を3倍程度増額してほしい。感震ブレーカーの補助事業を町で進めているが、隣家が火事となっては意味がない。消火器等を行政連絡区側で用意する予算はない。早急に整備を検討してほしい。	令和8年4月より火災報知器の設置補助に加え、感震ブレーカー設置についても補助対象としました。家庭用に消化器の設置義務はありませんが、他市町村の状況も研究しながら検討してまいります。
51	自治・防犯・防災	藤久保第3区	毎年、防災訓練に参加をしている。避難場所である藤久保小学校へ集まっているのだが、避難対象は何名を想定しているのか。職員に確認をしても返答はない。町の防災を真剣に考えている職員が少ない。	避難者数の想定は三芳町全体で発災から1日後に125人、1週間後で279人、ピーク時において327人が想定されています。藤久保小学校の収容人数は体育館に150人で設定されていますが、小学校とルミナみよしの複合施設での一体的な避難所運営も考慮してまいります。
52	自治・防犯・防災	藤久保第3区	自主防災会で使用ができる補助金について。県補助にて非常用発電に使用ができる補助金を自治安心課より案内いただいている。発電機を案内してもらっているが、発電機以外への有意義な使い方があっても良いと思う。	県補助は発電機のみが対象でしたが、県補助は終了いたしました。今後は、住民の皆様のお声を確認しながら地域防災計画に基づき、各地域の防災力の強化を図りたいと考えております。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
53	自治・防犯・防災	藤久保第3区	人が集まる集会所にAEDがないため、設置してほしい。行政連絡区でAED講習も受講しているが、AEDがないと意味もない。	行政連絡区への支援の中で、必要な集会所にAEDを設置することも含め、支援メニューの見直しを進めたいと考えております。
54	都市計画	藤久保第3区	藤久保第3区集会所前の道路（竹間沢・大井・勝瀬通り線）について、将来的にふじみ野市側へ道路が繋がらない（開通しない）とも聞きます。現在は着工されず土地が余っている状態に見受けられるため、道路が整備されるまでの間、地域の倉庫や資材置き場などとして有効活用させてもらうことはできないか。	都市計画道路の接続については、ふじみ野市側の進展が芳しくない状況です。余っている土地の活用方法につきましては、活用方法を検討してまいります。
55	都市計画	藤久保第3区	藤久保第3区集会所広場の桜の木と公園中央のモミジを剪定してほしい。	昨年度も枝下ろしを実施いたしましたが、今年度は5月11日に職員で桜の枝下ろしを行いました。樹木の剪定については、今後も計画的に継続してまいります。
56	都市計画	藤久保第3区	ドッグランの利用状況は。ドッグラン利用が少なければ、きれいなBBQ施設を作ってほしい。有料の施設でも構わない。	ドッグラン利用登録者数は約200人ほどおります。すべての方が一度に利用することはございませんが、利用される方々がペットと一緒に自然を感じる施設と認識しておりますので、ドッグランの施設をBBQ場に変更することは現在考えておりません。
57	道路	藤久保第3区	藤久保第3区集会所近くの道路の側溝について、昨年度、雨天時に砂が側溝内へ流れ込まないようにガード（対策）を設置していただいた。しかしながら、現在も同様に砂が流出しており状況が改善されていないため、現地の状況を再度ご確認ください、実効性のある追加の対策をお願いしたい。	現在も砂が流出してしまっていることについてご迷惑をおかけしております。大雨等の際はなどは、道路側との高低差の関係上、完全に砂の流出を抑えることが難しいところではありますが、対策を検討してまいります。
58	環境	藤久保第3区	三芳町の観光地として、いも街道は一日遊べるエリアであるが、整備を進めている三芳町役場近くについては、せいぜい3～4時間滞在をすることが関の山。平地林創生の取組の案内があったが、こどもが遊べる場所として遊具等を設置してくれないか。	三芳町の重要な平地林を未来へ残す取組として、平地林再生にも取り組んでおります。平地林の中にこどもたちが遊べる広場を設置する計画を立てており、シンボルツリーとなる桜も植樹予定でございます。ご提案については、貴重なご意見として参考とさせていただきます。
59	小学校跡地利用	藤久保第3区	いも街道は観光ストリート。魅力的な施設と自然がある。自然環境についてはあまり変えないでほしい。また、藤久保地域から上富までは約6km離れており、交通の便が悪い。跡地活用時には交通利便性も合わせて検討してほしい。	学校の跡地活用では、現存の建物を活かしつつ自然を残していく方針です。学校入口の道路の拡幅工事などは実施する可能性はございます。三芳スマートIC近くの道についても、道の駅計画時には交通の結節点機能を導入する予定でした。学校跡地においても同様の機能の導入を検討してまいります。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
60	拠点施設	藤久保第3区	ルミナみよしのセキュリティについて。学校部分と共用部分のセキュリティ対策を教えてください。	小学校と公共施設が建物内で接しているところは、施錠状況がシステムで確認できる電気錠付きの扉でセキュリティを行っております。屋外広場（みらい広場）に面する特別教室については、学校用の強化ガラスが入る扉で区画されているとともに、目隠し用のカーテンなどが設置されています。実際の運用では、広場内に授業中は立ち入り禁止のエリアを作るなど、学校と協議しながら進めてまいります。
61	小学校跡地利用	藤久保第3区	上富小学校の跡地に、お風呂があると良い。さつまいも掘りで汚れるのに洗える場所がないため、汚れたまま帰りたくない。	学校の跡地利用につきましては、望ましい施設や機能の実現に向けて、初期投資を抑え需要に応じて段階的に規模を拡大する「スモールスタート」の手法を重視し、施設の耐用年数を見据えた適切な整備を進めるよう、住民の皆様からご意見を伺い、検討委員会を立ち上げて検討してまいります。
62	健康・福祉	藤久保第3区	北永井のふれあいセンターがルミナみよし内へ移転すると聞いている。ふれあいセンターで対応してくれていた相談や、行事等は無くなってしまうのか。	ルミナみよしの3階に社会福祉協議会が入る予定であり、事業につきましても継続する予定となっております。 開館までに見学会等も予定しておりますので、実際に施設に入ってから、意見等がございましたら更に伺わせていただけますと幸いです。
63	道路	藤久保第4区	球場(自然の森・レクリエーション公園)へ入る道路（藤久保85号線）について、雨が降ると激しく水が溜まってしまう。以前にも一度対応をお願いいたしましたが、梅雨や台風の時期になると今も同様の状況が繰り返されています。特に球場入り口から降りてくるところや、上り坂の付近、駐車場のあたりに水が溜まりやすいため、抜本的な排水改善をお願いしたい。	当該路線には雨水管が埋設されており、公園入口付近には排水構造物(U字溝)も設置しておりますので、土砂堆積等の機能低下していないか点検をいたします。また、今後は雨天時の状況を確認し、改善方法を検討してまいります。
64	道路	藤久保第4区	地域のボランティア活動に関し、活動を行うボランティア側と、それを受け入れる町側との間で、熱量や認識に少し差があるように感じてる。お互いがより活動をスムーズに進め、協力体制を強めるためにも、定期的に意見を交わし合える「懇親会」や「話し合いの場」を設けていただきたい。	日頃よりご協力いただきましてありがとうございます。話し合いは重要であると認識をしておりますので、場を設けるよう調整を進めます。
65	自治・防犯・防災	藤久保第4区	はじめにお礼を言いたく、今年、公園管理お手入れマニュアルを策定していただき、お陰で住民の方に剪定の時期など、どのように進めていくか説明がしやすくなった。ありがとうございます。 また、海外派遣事業につきましても、町という規模であれだけの人数の派遣を実施していることは、あまり例にない事だと思っています。予算では様々なご意見が出ていますが、子どもたちが一人でも多く海外に行って体験することは非常に貴重な経験だと思いますので、是非とも続けていただきたいと思っています。 要望としましては、自治会離れが加速しており、数年で加入率が半数近くになっている。町からいただいているコミュニティ活性化事業補助金は、加入していない人も対象にしたイベント企画費に活用している。自治会運営費は約3百万円。半分が町からの補助金、残る半数が区費で賄われているが、自治会離れが進む中、十分な運営資金が減っている。コミュニティ活性化事業補助金に加え、自治会運営費の補助金を検討してほしい。	行政連絡区の加入率低下に起因したご意見は他行政連絡区でも頂戴しています。町としても、地域の要となる自治会は非常に重要であると考えております。 コミュニティ活性化事業補助金の幅を広げ、新たな支援メニューを設けるなど、町と自治会で一緒になって対策等を考えていきたい所存です。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
66	拠点施設	藤久保第4区	図書館について。ルミナみよし内の図書館が完成予定であり、楽しみとを感じる。しかしながら、距離的な制限により、上富や竹間沢の子どもたちが一人でルミナみよしへ本を借りに行くことは難しい。移動図書館等、ルミナみよしへ行くのが難しい子ども向けの対応を検討して欲しい。	竹間沢地区には竹間沢公民館内に「図書室竹間沢分館」があるためこちらの活用を促進するとともに、上富地区などを含め、ご提案の移動図書館や他施設との連携による巡回貸出・返却拠点の整備など、すべての子どもたちが安全に本に親しめる環境づくりを検討してまいります。
67	都市計画	藤久保第4区	みどりヶ丘住宅に在住。隣接する野球場からボールが飛んてくる。防球ネットの高さを延長することは予算上難しいと聞いているが、昨年、飛んできたボールが窓ガラスを割る事案が発生した。これまでに3回壊れており、そのうち2件はしらばっくれられた。当初決めていたルール（8:30までは声を出さない、駐車場にはなるべく最低限の台数で乗り入れる等）も遵守されていない。防球ネットは難しくとも、野球チームの代表者と町、住民で話し合いの場を設けてもらうことはできないか。	レクリエーション公園からの飛球により窓ガラス破損など、近隣の皆さまにはご迷惑をおかけしております。野球チームの代表者には、ルールの徹底とチーム全体への周知を再度、指示いたします。（個人的に利用している小・中学生については、教育委員会を通じてルールや迷惑をかけた際の対応について、改めて子どもたちに指導してまいります。）また、レクリエーション公園はボール遊びのできる公園で子どもたちも利用するため、簡易看板などを設置してルールを周知いたします。防球ネットの延長についても再検討いたします。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。
68	教育・文化	藤久保第4区	上富小学校の跡地の話があったが、学校機能を少しは残した方が良いのではないか。スクールバスの運営を20年間行う等は、現実問題として難しいとも感じる。世間ではバス運転者不足も耳にする。スクールバスの運営が難しくなった際に、週に1回程度上富小学校で学ぶようなことができるような体制を整備してほしい。また、上富エリアの学生が上富小学校から自宅へ集団下校するような体験も実施して欲しい。登下校は貴重なコミュニケーションの場である。	スクールバスの運行にあたっては、複数の事業者から参考見積を徴取しており、バスの保有台数や運転手なども含めて確認している。今後学校準備委員会のなかで、通学体制について具体的に協議し、保護者や児童の声も聞きながら、準備を進めていく。
69	都市計画	藤久保第4区	中高生が体を動かせる広場や施設が欲しい。息子はバスケットをしに、針ヶ谷や富士見市のバスケットコートを利用している。町のグラウンドのルールも厳しくなっている状況である。	昨年度、役場敷地内にスケートボードパークを新設いたしました。お話を伺い総合運動場内にバスケットゴールの設置も検討しております。中高生向けの施設整備についても検討してまいります。
70	まちづくり全般	藤久保第4区	道路美化ボランティアの募集を広報へ掲載してほしい。現在は2年に1回の掲載程度。年1回程度掲載し、加入を促して欲しい。	広報みよしに「まちの掲示板」というコーナーがございます。そちらに掲載依頼をいただけますと、掲載したい月に空きがあれば掲載可能です。再度の掲載は間を3か月空けていただくルールとしており、なおかつ空きがあれば掲載可能です。
71	まちづくり全般	藤久保第4区	広報等にて、くだらないクレームを止めるような案内を出してはどうか。	貴重なご意見ありがとうございます。 町としては、個々の案件に適切に対処していきたいと考えております。
72	教育・文化	藤久保第4区	昨年度、デフリンピック大会の機運醸成イベントを経て、家族でデフリンピックに関心を持った。しかしながら、デフリンピックに関わらなかった人は、役場等に行っても置いてけぼりである。同様に世界農業遺産についても、エリア等によって関心の差がある。町全体で関心を高める必要があると感じる。	東京オリンピックでは、全小学校を対象とした観戦ツアーを計画していましたが、コロナウイルスの影響で中止となりました。今回のデフリンピックにおいても少しでも多くの住民に関わってもらえるよう取り組みました。 世界農業遺産については、各小学校では世界農業遺産を学ぶ場を用意しております。住民による関心の温度差もある中で、世界農業遺産を楽しく学べるようなミュージアムが重要だと考えておりますので、そのような取組についても検討していきたい所存です。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
73	まちづくり全般	藤久保第5区	人口を増やすのか、減らさないのか。近隣から流入させるのか。外国人を入れるのか。高齢者や子どもだけでなく税金を払う人を入れるのか。	三芳町の人口は微減で推移をしていますが、20代後半から40代の子育て世帯の移住は増加傾向にあります。「ルミナみよし」のような新しい施設の整備に加え、CFCIや国際交流など、ソフト面でもこどもが成長できる機会の創出にも力を入れております。引き続き新しい取組についてもしっかりと情報を発信してまいります。
74	道路	藤久保第5区	藤久保第5区第2集会所前の道路（幹線19号線）について、交通安全対策をお願いしたい。もともと生活道路として自動車・自転車・歩行者が多く行き交う場所だが、現在は非常に混雑しており、時間帯によっては危険な状態だ。今後は「ルミナみよし」の開館も控えているため、さらなる混雑と事故が懸念される。事前の対策を。	当該路線区間については当課の拡幅整備計画において優先検討路線に選定しており、以前より拡幅の必要性は認識しております。現時点で明確な時期を示すことはできませんが、今後は丈量図を作成し拡幅へ向けた準備を進めるとともに、既存道路における安全対策も併せて検討させていただきます。
75	道路	藤久保第5区	大雨の際、大崎電気工業前の国道254号が、まるで川のように冠水（水浸し）になってしまう。安全な通行のためにも、排水設備などの調査と改善を一度検討いただきたい。	国道254号(川越街道)の管理は埼玉県となります。川越県土整備事務所へ改善要望をお伝えします。
76	自治・防犯・防災	藤久保第5区	集会所外にあるトイレについて、水が漏れるのか床が汚れている。以前町で見てもらい、何も異常はないとのことだが、週1回掃除していると、便器と壁の間の床が黄色く変色している。臭いもある。もう一度役場で確認してほしい。平成25年に建ててかなり古くなっている。掃除する方も気持ちよく掃除できるように。	ご指摘いただきました外トイレにつきましては、行政連絡区において維持管理を行っていただいております。以前、町において現地を確認した際には異常は認められませんでした。今回いただいたご意見につきましては、区長へ情報提供させていただきます。今後の対応につきましては、区において現地の状況をご確認いただき、必要に応じてご対応いただくこととなります。
77	拠点施設	藤久保第5区	ルミナみよしで、飲食や飲酒のトラブルの可能性がある。飲酒は決められた場所であれば可だということを多くの方に認識してもらえるような取組をやってほしい。何も知らない人が来た時にトラブルにならないか心配のため、問題が起きた後ではなく起きる前に対策してもらいたい。	トラブル防止等のため、飲酒には事前の届出を必須としており、申請された事業内容に応じて個別に使用できるエリアを指定する運用を行う予定です。このルールを初めての方にも正しく認識していただくため、利用申請時における事前説明の強化、ウェブサイトへの明記など、周知徹底に向けた取組を実施してまいります。
78	環境	藤久保第5区	上富と北永井の間の通りで広い面積の平地林が伐採された。急速な環境の変化について、住民からの声を聞いている。基金のようなものを募って、平地林の取得などができるか。グリーントランスフォーメーションにより世界では緑に投資する企業もたくさんある。人口増加と含めてうまくバランスが取れた取組を考えてほしい。	緑の保全と開発のバランスが大切であり、世界農業遺産は緑を守っていかうというものですので、平地林の取得や緑地を生み出すことも考える必要があるものと思われます。また、新たな平地林創生に向けてクラウドファンディングによる植樹も実施予定です。
79	公共交通	上富第1区	八軒家周辺に住んでいるがバス停まで遠い。また、ふじみ野市境までMIY0バスが走っていない。	早急な改善は難しいですが、ルートの見直しは検討してまいります。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
80	道の駅	上富第1区	道の駅計画は今後どうなるのか。	中東情勢による物価高騰等、先行きの見えない状況もあり、議会での議決を受けて、道の駅整備を一時保留としました。今後は、上富小学校の跡地利用の検討状況など、広く意見を聴きながら、全体を鑑みて慎重に取り組みたいと考えております。
81	道の駅	上富第1区	どうして急に議会が道の駅を反対したのか。	中東情勢による物価高騰等、先行きの見えない状況であることなどを理由に一度立ち止まって考える必要があるという議員のご指摘を受け、一時保留となりました。
82	道の駅	上富第1区	上富第1区としては、道の駅完成を一番身近で期待していたこともあるため、いきなり凍結といわれても納得いかない。野菜を作っている立場からすると、みよし野菜を売ってPRできる大きな施設として期待していた。 また、道の駅の外周道路ができれば、町道2ヶ所へ繋がり、渋滞緩和もできると思っていた。	町としても道の駅を通して、地元農産物のPRやブランド化を図ること、また地元農家の販路拡大なども期待しております。中東情勢による物価高騰等、先行きの見えない事案もあるため、道の駅整備を一時保留としましたが、現状の課題を解決する検討や機能を絞り込んだ形で再度計画を作ることも可能です。引き続き、皆さんのご意見を聞きながら進めてまいります。
83	道路	上富第1区	福祉センター入口交差点の信号サイクルについて、改善をお願いしたい。東側から進入する際の青信号の時間が非常に短く、時間帯によっては十分に車がはけず混雑や危険が生じています。安全に通行できるよう、青信号の時間を延長するなどの見直しを検討してほしい。	信号機の設置、管理は交通管理者である警察の管轄となりますので、所轄の東入間警察署へ相談させていただきます。
84	道路	上富第1区	多福寺交差点の渋滞が目立っており、そこから幹線14号線とのT字路（上富69号線との交差点）も混雑が激しく、これまでに何件か事故が発生している。住民の安全に関わる重大な問題だが、現在、道路管理者（県や警察など）との間で具体的な改善に向けた協議は行われているのか。進捗状況を教えてほしい。	三芳スマートICフル化の後に、警察とも協議を進めております。引き続き警察としっかり協議を行い、渋滞緩和と安全対策を進めてまいります。
85	道路	上富第1区	三芳スマートIC付近の安全対策（歩道整備）について要望。下り線側出入口の幹線14号線北側や、上り出入口（合流点）付近の幹線3号線西側に歩道がなく、非常に危険な状態である。また、多福寺交差点周辺も歩道が途切れ途切れになっており、歩行者の安全が確保されていない。事故が起きる前に、一連の区間の歩道整備や安全対策を進めていただきたい。	幹線14号線においては、関越自動車道を跨ぐ歩道橋を北側に設置することが困難だったことや多福寺交差点付近の民家への影響などから南側に連続した歩道を整備いたしました。この際、安全性を確保するために歩道幅を3mとしております。また、多福寺前交差点西側へは交差点の横断歩道を通して連続性がございますので安全性は確保されているものと考えております。幹線3号線につきましては、東側には歩道が設置されておりますが、西側の歩道設置に関しては、多数の事業者が所在している区域となっており、用地確保や費用面で課題があり連続した歩道の整備が難しい状況です。今後も引き続き交通状況を注視しながら歩行者の安全対策に努めてまいります。
86	環境	上富第1区	外国人がやっている板金会社において、ゴミステーションに何でも構わずゴミを出している。カラスによる被害も出ている。役場から会社へ指導できないか。 また、法人ごみも出しているが、外国人でルールを知らない可能性もある。さらに、作業を21時以降でもやっていて、音もうるさい。	当該企業に対しては、訪問の上ごみの出し方のルールを説明し、それを守るよう指導いたします。また、作業による騒音についても周辺への配慮を行うよう説明を行いました。また、継続的な指導も行っております。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
87	道路	上富第2区	ケヤキ並木の環境改善と安全対策を、優先順位をつけて進めていただきたい。 現在、木がうっそうとしていて道路が暗く、自転車が歩行者に気づくのが遅れるため危険な状態である。さらに、落ちた枝や雑草で道が汚れ、虫が湧くなど地域のイメージ悪化にもつながっている。 担当者の方には、ぜひ一度この道を実際に歩いて現状を確認し、早急な剪定や清掃の対応をお願いしたい。	これまでも地域からの要望を受け、道路管理者である埼玉県川越県土整備事務所へ対応を依頼してきておりますが、当該路線は毎年の定期除草を実施する路線とはなっておらず、必要に応じ部分的に対応いただいている状況です。世界農業遺産認定地域、ガーデンツーリズム（みよし野ガーデン里山探訪）のメインエリアであることもしっかりと伝え、計画的な維持管理を実施いただけるよう道路管理者へ再度要望いたします。
88	道路	上富第2区	ケヤキ並木の枝の落下対策について、至急の改善をお願いする。 最も危険なのが、走行中の車や歩行者に枝が落下してくることで、万が一当たれば、車のフロントガラスの破損や屋根のへこみだけでなく、命に関わる大事故になりかねない。事故が起きる前に、適切な剪定や安全管理を徹底してほしい。	危険木の情報等を皆様から頂いた場合、また、町職員によるパトロールで発見した場合は、速やかに川越県土整備事務所へ情報提供し対応を依頼しております。また、町指定保存樹木もケヤキ並木通りには多いため、特に緊急性の高いものについては、県土整備事務所と連携相談の上、町が緊急対応を行うなど、安全確保に努めているところです。
89	小学校跡地利用	上富第2区	枝が落下するなどでケヤキ並木を歩くのは危ない。そのため、上富小学校のグラウンドを高齢者のために朝の時間帯を開放して自由にウォーキングなどができるといい。	上富小学校の跡地活用の中で検討してまいります。
90	道の駅	藤久保第6区	藤久保地域から道の駅に行くには遠い。	道の駅整備は一度保留となりましたが、今後再検討する場合は道の駅までの移動方法等についても検討を行いたいと考えております。
91	道路	藤久保第6区	国道254号の和菓子屋のある交差点において、川越方面から二輪車が左折できるような信号が新設されたが、この交通誘導を行った意図や理由を教えてください。左折した先の道路は、住民が利用する狭い生活道路で、そこへ二輪車を誘導すると危険であり、特に夜間は見通しが悪く、事故の危険性が高まっている。生活環境の安全を守るため、どのような経緯でこの運用に至ったのか説明してほしい。	信号機の設置、管理は交通管理者である警察の管轄となりますが、警察からは当該箇所の一方通行規制は従前より『二輪は除く』との条件が付されており、これまでの国道信号明示が間違っていたとの説明を受けております。そのため、今般の改修は間違いを是正するために実施したものとなります。また、二輪車の制限については警察の規制判断であり、埼玉県公安委員会で決定した内容となります。 ご要望を受け、再度警察との協議をしてまいります。
92	健康・福祉	藤久保第6区	電位治療器が4台あるが、ルミナみよしに2台、中央公民館1台、竹間沢公民館1台ということで良いか。	台数については、ご質問いただいた台数の予定ですが、リース機器となっているため、安全性を確保しながら設置する方向で考えております。 また、台数は多くないため、電位治療器とは別に足湯のような機器も導入しようと考えております。
93	自治・防犯・防災	北永井第2区	北永井第2区の行政連絡区の加入世帯数が年々減少傾向（加入率20％以下）である。 理由は、運営側の問題もあると思うが、自治会自体の存在意義が薄れていると感じる。 三芳町は魅力的であり町民の意見も聞いてもらい、町と住民の繋がりが強いと思うが、加入数が減少する中で、行政連絡区はどういう立場でいればいいのか。町として自治会に求める明確な役割や運営支援をいただきたい。	全国的にも自治会の加入率の低下は課題となっており、高齢化による役員敬遠による離脱などがあります。地域で生きて行くうえで、地域の人とのコミュニケーションと助け合えることが大切と考えており、それが人や町全体の幸せにつながると考えられます。また、三芳町地域コミュニティ地域活性化事業支援補助金などもございますので、そちらもご活用ください。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
94	自治・防犯・防災	北永井第2区	自治会内の住民とコミュニケーションをとれるようなプラットフォームがあれば教えてほしい。行政連絡区から自治会代表者との電話での連絡というのが、現在のコンタクト方法。	Wi-Fiを各集会所に設置する予定で、回覧機能も付け加える予定です。令和8年度に施行実施し、スムーズな情報提供ができるよう進めたいと考えております。
95	自治・防犯・防災	北永井第2区	三芳町に限ったことではないが、自治会がうまく機能していない。若い人はメリットを先に考えて入らないことがあり、どのように状況を再生していくのか。また、転入者に対して住民課などで自治会への勧誘（メリットを伝えるなど）といったことはできないか。地域の人が交流し仲良くなるための自治会、そういった取組をしていくべきではないかと思う。そういう関係ができれば、地域内もうまくいくのではないか。	行政連絡区と町が一体となって進めていきたいと考えております。住民課で情報提供はしているが、更に情報発信の強化に努めてまいります。
96	環境	北永井第2区	外国人が空き家に引っ越してきている。そこは自治会が何年か前になくなっているため、班長とかがいらないため、ごみ出しのルールを教えてくれる人がいなくて、ごみの出し方ができていない。自治会があれば、班長が教えてあげることができると思うが、ごみの出し方は英語だけでは分からないかもしれない。 また、朝6時台にも車のエンジンをかけっぱなしで騒音にもなっているため、役場で対応できるのか。	ごみの出し方など分からない方には三芳町役場でもお伝えすることが可能です。 お気軽に役場窓口までご相談ください。
97	自治・防犯・防災	北永井第2区	北永井第2区集会所の遊具が新しくなり、盛り上がっている。ただし、花壇の花を踏まれたりフェンスによじ登ったり、大人もキャッチボールしてルールが乱れている。そういう人へ町は注意してくれるのか。 また、案内看板の文言が優しすぎるため、もっと強くした方がいいと思う。	ボール遊びについては、野球・サッカー・ゴルフなど硬いボールの使用を禁止させていただいており、柔らかいビニール製のカラーボール等での遊びは、他の利用者や近隣にお住まいの方々にご迷惑をかけない範囲であれば、ご利用いただけます。 パトロールを強化し、マナー違反がその場で確認した際は、今後も関係者へ注意喚起をしております。また、案内看板の文言についても検討いたします。
98	環境	北永井第2区	カラスの駆除や巣を作らせないなど、カラスへの対応についてはどう考えているのか。	カラスは野生鳥獣であり、狩猟または鳥獣保護管理法による捕獲許可がある場合を除き、捕獲することは禁止されています。カラスが集まる原因（多くは生ごみ等）を取り除くことが繁殖抑制にもつながるため、町では集積所での対策としてカラス除けネットを配布しております。
99	環境	北永井第2区	事前にカラス避けネットや飲み物のネットを区に配ることは、町で在庫管理ができないためできないと言われた。 自治会の存在意義なども含めて、ある程度は区に管理を委ねても良いと思う。	行政連絡区にごみネットを一括で事前配布した場合、在庫管理・配布作業の負担が行政連絡区にかかることとなり、また役員変更等により在庫把握が難しくなることも想定されます。 町としては、限られた資源を効率的に配布して適切な在庫管理を行っていきたいと思いますので、大変お手数ですが今後も環境課窓口での配布を考えております。
100	環境	北永井第2区	ごみの回収方法として、1軒1軒回収してくれる自治体も存在するが、町としてそういう方向性は考えているか。 一度調べてもらって、予算や規模など実現可能性を確認してほしい。	委託業者で回収をしているため、かなりの労力になることから、現実的には難しいと思われます。貴重なご意見として承ります。

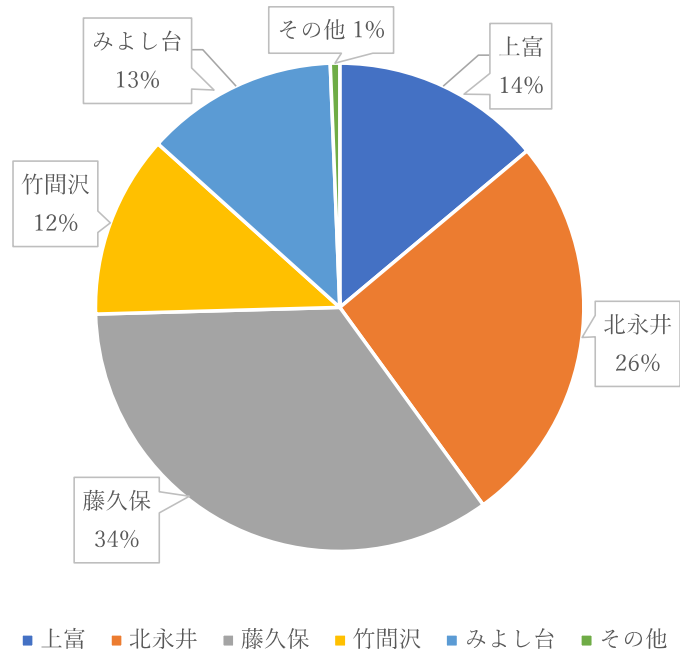
番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
101	道路	北永井第1区	中央通りの歩道の狭さと、安全対策について伺いたい。北永井第2区集会所前の通り（幹線17号線）は歩道が狭く、歩行者の安全な通行が難しい状態にある。また、その歩道上にポールが設置されているが、歩行空間をさらに狭めているようにも見え、どのような目的や経緯で設置されたのか疑問に感じる。ポールの設置理由と、今後の歩道の拡幅や安全確保に関して町はどう考えるか。	歩道整備は片側に歩道を設けることになると思われますが、計画的に進めてまいります。ポールについては、以前より安全対策をしっかりとしてほしいという要望もあり、安全対策のために設置しております。子どもたちを守るためのものとしてご理解いただけますと幸いです。また、柔らかいポールへという意見もあったので、柔軟に検討してまいります。
102	道路	北永井第1区	所沢市との境界にある道路の道路環境の改善について要望がある。当該路線は「幅員が狭いため整備が難しい」との説明を以前受けていたが、所沢市側はきれいに舗装されているのに対し、三芳町側は砂利が多く残っており、通行に支障をきたしている。境界道路としての安全性を確保するためにも、三芳町側の区間について簡易舗装などの対応を検討していただけないか。	道路幅員や沿線状況を確認の上で、通行環境を向上させる対策を検討してまいります。
103	道路	北永井第1区	幹線15号線における国道254号との交差点付近について、駅へ向かう通行者から「自転車の走行空間が狭く危険だ」という声が寄せられている。当該路線は駅へのアクセスルートとして利用者が多い反面、自転車が安全に通行できる道幅が十分に確保されておらず、歩行者や自動車との接触リスクが懸念される。限られた道幅の中で、住民が安全に通勤・通学できるよう、今後の整備計画について、町の見解を伺いたい。	当該路線の朝夕における交通量の多さは把握しており、現状幅員における安全対策として片側にグリーンベルト標示はあるものの、自転車、歩行者の安全確保には課題があると考えております。現時点では優先的な拡幅整備路線として選定しておりませんが、今後は道路拡幅も視野に入れた対策の検討が必要であると考えております。
104	道路	北永井第1区	町内の道路において、下水管や上水管のマンホール周辺の道路舗装の修繕をお願いしたい。マンホールの周辺で舗装が沈み込んで段差が生じたり、ひび割れが広がったりしている箇所が見受けられる。歩行者のつまずきや、自転車・自動車の走行時の安全に支障が出ているため、現地の状況を確認し、早期の再舗装・補修対応をお願いする。	ご要望のマンホール廻りの修繕ですが1部を除き、修繕完了済みです。残りの1部箇所についても、修繕する予定です。
105	環境	北永井第1区	緑が多いまちづくりとしているが、相続や開発で山林がなくなっている。植樹するよりも減る面積のほうが多いと思うが、どう考えているか。	保全と開発をバランスよく進めていかなければならないと考えております。農業遺産も平地林があつての農法ですので、農家の方々には町と共に守っていただきたい所存です。また、役場周辺でも土地を購入して植樹を行う予定で、平地林が減っていく中でも、保全活動を続けていきたいと考えております。世界規模でも自然を守っていく流れはありますが、小さな町でもできることはあると考えます。
106	まちづくり全般	北永井第1区	予算が余ると削られるということを聞くが、実際にはどうなのだろうか。	予算は余るからとすべて使う必要はありません。次年度も必要であれば予算措置をいたします。
107	道路	藤久保第1区	令和7年度のまちづくり懇話会において、「県道三芳・富士見線の富士見市境にある交差点の青信号の時間が短く、警察に相談しても対応してもらえなかった」ため、町に対応を要望した。その後の進捗や現在の状況がどうなっているか教えてほしい。	当該交差点は3現示（3サイクル）の信号周期であり、各サイクルに割り当てられる点灯時間が通常より短くなっていることが要因と思われます。町外の交差点ではありますが、鶴瀬駅へ向かう三芳町住民も多く利用されていると思います。令和7年度に東入間警察署へ要望内容を伝えさせていただきましたが、回答としては「対応は難しい」という回答でした。改めて警察に要望いたします。

番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
108	道路	藤久保第1区	唐沢小学校前の通りは風が非常に強く、風が酷い日には砂埃が舞って、まともに通ることができないほど。安全に通学・通行できるよう、防風ネットを設置できないか。	道路整備をする上で、隣接地からの土砂埃を防ぐ施設を設けることはできません。 道路管理者として、原因が畑である場合は観光産業課から地権者へ対策指導を、学校校庭が原因である場合は教育委員会へ対策検討をお願いする等の連携をとってまいりたいと思います。
109	道路	藤久保第1区	藤久保348番地付近の道路の一方通行化について、当該道路は坂道になっているが、車が停車していると対向車とのすれ違いができず、非常に危険な状態だ。安全のために、この付近の道路を一方通行に規制することはできないか。	交通規制については交通管理者（警察）の判断となるため東入間警察署へ相談してみますが、一般的に一方通行規制は沿線住民の利便性に直結することから、全員の同意が必要であるため、自治会長と協議をしてみたいです。
110	道路	藤久保第1区	ポンプ場の近くに住んでいるが、近年の集中豪雨の際には道路が川のようになってしまい、床下浸水が起きないかと非常に心配している。町として何か具体的な浸水不全対策は打てるか。	当該地周辺については従前より雨水が集まりやすい地形であることが一番の原因であると思われるが、排水するための集水桝や側溝は概ね整備されております。道路冠水の多くは雨水管処理能力を超過した降雨となった際や土砂堆積等による排水構造物の機能低下で発生いたします。道路管理者としては、今後も排水構造物の適切な維持管理により、雨水管への円滑な排水に努めてまいりたいと思います。 また、下水道管の点検を行い、必要に応じて雨水管の清掃を実施する等、排水管の流下機能の確保を目的に施設の維持管理に努めます。
111	自治・防犯・防災	藤久保第1区	地域コミュニティの維持が難しくなる中、町として現在の「自治会離れ」の現状をどのように捉え、今後どのような対策や方針を考えているのか、見解を伺いたい。	他の区からも出ている質問で、役員の負担があるということも認識しております。 町では地域コミュニティ活性化補助金を設けておりますので、ご活用いただけますと幸いです。 また、Wi-Fiを集会所に設置して、回覧の通知など簡素化することもできますので、地域コミュニケーションにつなげていただいています（例：藤久保1区は映画鑑賞に活用）。継続的に区長会にて検討してまいります。
112	自治・防犯・防災	藤久保第1区	最近、闇バイトを発端とする凶悪な犯罪が増加しており、住民の不安が高まっている。少しでも地域の安全を高めるために、町から防犯グッズを支給したり、購入の補助を行ったりする制度を作ってほしいです。	三芳町住宅防犯対策補助金をご活用ください。
113	自治・防犯・防災	藤久保第1区	災害が発生した際、一番に問題となるのが仮設トイレではないか。いざという時のために、仮設トイレ（マンホールトイレ等）や、排泄物の匂いを遮断する匂わない袋などの備蓄をさらに増やしてほしい。	災害時の仮設トイレ等の設置については、既存トイレが使用できなくなった場合に各避難所において民間事業者との災害協定に基づき設置いたします。また、携帯用トイレの備蓄数については、各避難所の想定人数に応じて備蓄しておりますが、いただいた意見等も含め今後検討してまいります。
114	拠点施設	藤久保第1区	「ルミナみよし」には収納倉庫がないため、地域の団体などが活動で使用する道具や機材を置いておくことができず、不便を感じる。新しく道具が置ける倉庫を設置してほしい。	施設の敷地や安全管理上の都合から、新たな倉庫の設置は困難な状況です。ご要望に沿えず大変申し訳ございませんが、皆様の活動を支援するための代替策として、館内にあるロッカーをご希望の団体へ貸し出す運用を開始いたします。ロッカーの数やスペースには限りがございますが、現在の環境の中で皆様に安全・円滑に施設をご利用いただけるよう努めてまいりますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

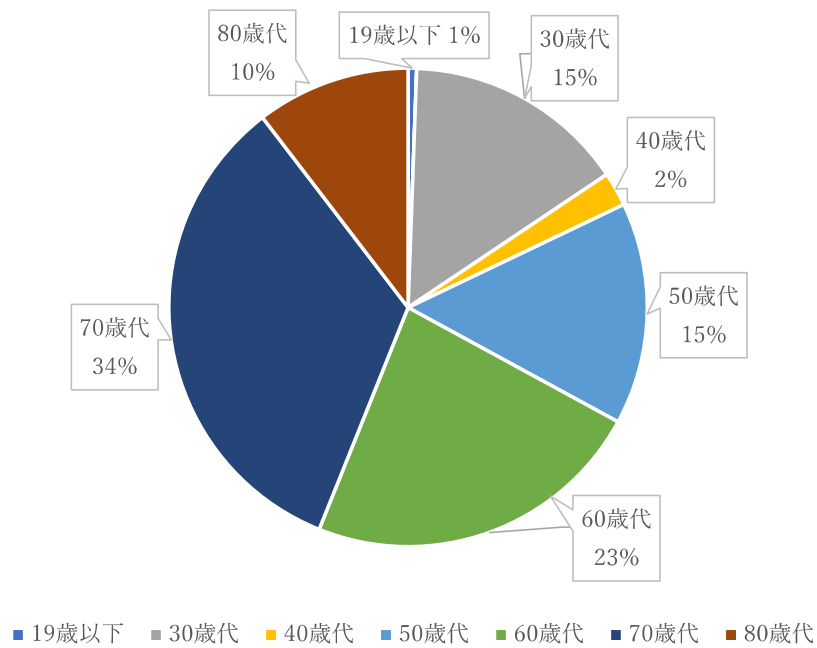
番号	テーマ	行政連絡区	ご意見・ご質問	町の見解
115	拠点施設	藤久保第1区	中央図書館にある「草花モザイクタイル」や「ステンドグラス」は素晴らしい作品であり、これらが取り壊されてしまうのは非常に残念に思う。何らかの形で残すことはできないか。	新施設移転後に解体となるため、何らかの対応ができないか検討してまいります。
116	教育・文化	藤久保第1区	藤久保地区の高齢大学について、住民が従順であるのをいいことに、事務局主導の運営が行われている印象を受ける。住民が出したアイデアが却下されたり、本来は任意であるはずの保険への加入を強いられたりしている現状があるため、運営方法を見直していただきたい。	高齢大学に関しては、各教室ごとに「学生自治会」を組織しており、カリキュラムや運営その他に関して意見を徴取して、内容に反映しています。今後も学生自治会の意見・要望に応えていくとともに、個々の学生のニーズについても可能な範囲で対応していきたいと考えます。また、傷害保険については、学生相互の安心を願う思いから、学生自治会予算で加入しているものです。いただいたご意見については、学生自治会にも共有して内容を検討していきたいと考えます。
117	都市計画	藤久保第1区	雑草が多く荒れてしまいがちな集会所の公園について、もし地域住民から「お花を植えてきれいにしたい」という要望があれば、その熱意を活用してみてもどうか。実際に藤久保2区では、住民の手でお花や樹木を植える活動を行っている。	景観の美化のため「お花を植えてきれいにしたい」というご要望がございましたら、申請のうえ許可を受けてから活動していただけます。その後の維持管理につきましても、ご協力をお願いいたします。また、「子ども広場」の維持管理については、各行政区に清掃や雑草の除草などの作業をお願いしていますが、内容により作業が困難な場合は、都市計画課公園担当までご相談ください。
118	都市計画	藤久保第1区	町の中にキャンプ場を作るというお話が出ていましたが、その土地を災害が発生した際に避難場所や活動拠点として活用できるように整備してみてもどうか。	令和5・6年度の秋に試験的に多目的広場でBBQ宿泊キャンプ(テント等持参)を実施致しました。今後の実施についても検討してまいります。また、町内には64か所の公園・子ども広場がございます。災害用トイレやカマドベンチを備えた公園もありますので、有事の際には避難場所や活動拠点として利用いただくことになります。また、ご質問に関して、学校の跡地利用という観点からは、望ましい施設や機能の実現に向けて、初期投資を抑え需要に応じて段階的に規模を拡大する「スモールスタート」の手法を重視し、施設の耐用年数を見据えた適切な整備を進めるよう、住民の皆様からご意見を伺い、検討委員会を立ち上げて検討していきます。
119	環境	藤久保第1区	緑を増やす取組がある一方で、高齢者宅の庭木が大きくなりすぎて困っているという現状がある。近隣で対応できる範囲であれば対応するが、地元のボランティアも高齢化が進んでおり、手が出せない状況。また、経済的な理由から専門業者へ依頼することも難しいため、町として何らかの支援や対応をお願いできないか。	敷地内からはみだして道路などに飛び出ている部分については町で対応しますが、敷地内は町では対応できません。ただし、このような問題は重要なことだと考えております。他にも、高齢者が飼っている猫が飼えなくなってきているという問題も伺っております。周りに影響を与えるような状況である場合には、担当課でも考える必要があり、地域の助け合いやボランティアといった手段も必要と考えられます。
120	まちづくり全般	藤久保第1区	高齢者によるセクシャルハラスメントの行為が見受けられ、困っている人がいる。誰もが不快な思いをせず安心して過ごせるよう、町として対策や啓発活動を行ってほしい。	人権問題は大切な問題であるため、防止に向けて担当課で発信してまいります。
121	健康・福祉	藤久保第1区	いつの間にか一人暮らしになっている高齢者の方が増えている。個人情報保護の問題があることは承知しているが、町としてどのお宅が一人暮らしになっているのかを把握し、見守りのために地域へ情報提供してもらうことは可能か。	三芳町災害時要援護者名簿がありますが、自分自身で手を挙げて頂く必要があります。災害時には、この要援護者名簿を活用し、要援護者の避難等に活用させていただきますが、通常時には利用することが出来ないものとなります。また、個人情報保護法の観点があり、町としても、一人暮らし高齢者の把握は難しいのが実情です。

3. 来場者アンケート結果

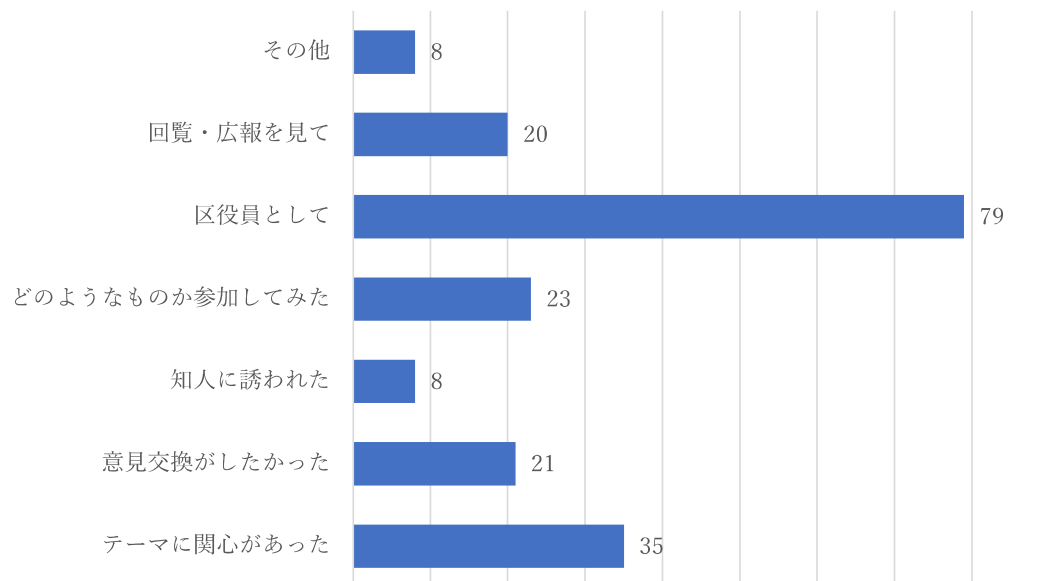
お住まい



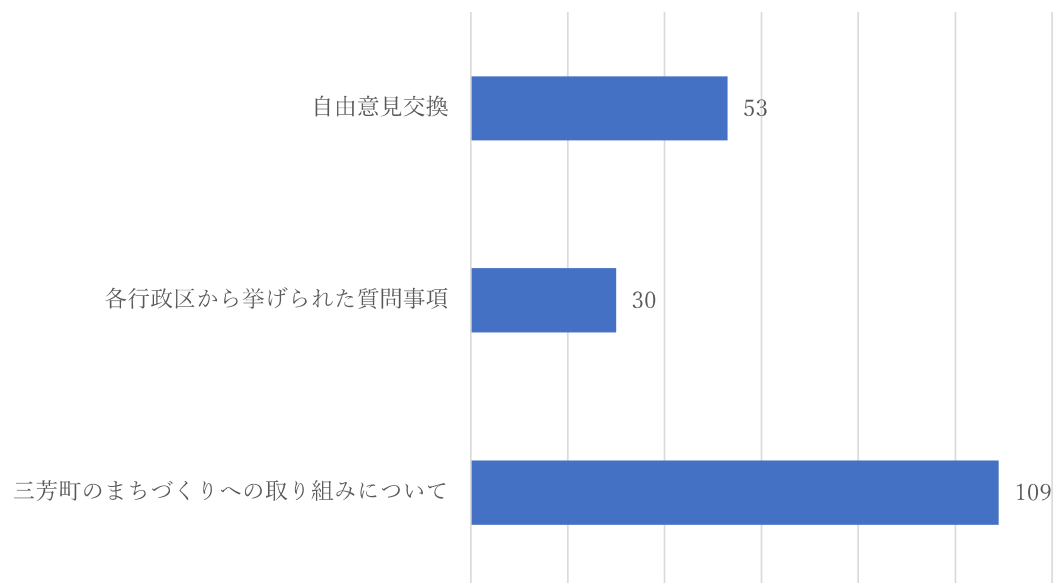
年齢



まちづくり懇話会に参加した動機（複数選択可）



興味をひいた項目（複数選択可）



次回希望テーマ

① 高齢者福祉・介護・老後	
	高齢者への町の取り組み
	フレイル事業について
	こどもと高齢者との交流について
② 子育て・教育	
	教育・子どもへの取り組み
	小中学生への SNS 教育について
	若者世代が住みやすい町づくりについて
③ まちづくり・開発・観光	
	道の駅の今後
	上富小学校の廃校後の利活用について
	町の観光施策について
④ 防災・安全対策	
	空き家問題
	いも街道の高木の枝の剪定
	自転車道の整備・ルール周知について
⑤ 行政・財政・政策運営	
	政策の優先順位について
⑥ 環境・インフラ・ごみ問題	
	公共交通手段の改善
	ゴミ出しルールの周知、ポイ捨て対策について
	MIY0 バスの今後
	ルミナみよしの利活用について
⑦ 地域コミュニティ・自治	
	自治会の加入率について
	自治会のあり方
⑧ 将来展望・ビジョン	
	上富の人口増の施策について
	町の魅力向上について
	町全体に影響のあるテーマ、町の全体の方向性

意見・要望等

① 高齢者福祉・介護・交流	
	三芳町の老人の地域への活用プランを作してほしい。
	年を取ってきたので足（交通）の問題で歩いて行ける場所の充実を希望します。
	ルミナみよしを高齢者の居場所としても活用できるようにしてほしい。
	高齢者が安全に遊べる場所があると良い。子どももお年寄りも楽しめるとなお良い。
	こどもにやさしい事業だけでなく、高齢者にやさしい事業も行してほしい。
② 福祉・まちの暮らし全般	
	一部の町民対象の事業計画だけではなく全町民に還元できる計画を考えてほしい。
	20～40 歳代の人が住みやすい、育児がしやすいまちづくりを検討してほしい。
	三芳に住んで 50 年になりますが、イベントや町の取組に参加することはほとんどありませんでした。住民の多くが同様ではないでしょうか。周知と参加率の改善を求む。
③ 移動・交通・道路整備	
	MIY0 バスの改善をお願いします。
	三芳スマート IC の出入口に信号を設置してほしい。
	一部の地域が陸の孤島のようになっている。対等に町民の足を充足させてほしい。
	幹線道路の渋滞改善、右折レーン・右折信号の設置をお願いします。
	道路街路樹の剪定をしてほしい。
	狭い歩道の拡大・自転車道の整備をしてほしい。
④ ICT・情報発信	
	まちづくり懇話会の存在を SNS で見るまで知らなかった。広める方法を考えてほしい。
	SNS など、インターネット等を利用して町民の意見を吸い上げるのはどうか。
	今以上に町が何をやっているか、今後何を行おうとしているのかを知らせてほしい。
	駅のない三芳町だから SNS 映えしそうな名所を作り、外部の誘致が必要かなと思う。 （例えば季節の花が咲く場所など）
⑤ 行政運営・町政・住民参加	
	町全体として素晴らしい施策があるのに近所から三芳町へ移転する人をもっと増やす方法を考えてほしい。
	今後の為、人口構成表を報告していただきたい。可能であれば毎回で。
	町への要望の目安箱的なものがあったら助かる。
	国際交流は三芳の実力としては手を上げすぎている。対応する職員が不足。
	国際交流に向けて町は考えていることが多い。町内に目を向けて取り組んでほしい。
	三市一町の統合について方向を出してほしい。
	町の実施報告は簡単に短時間でいいのでは？より良い町づくり懇話会が主題のはず。
	前半、町長のなしとげたお話。もっと意見交換の時間をメインにしてほしかった。

⑥ 教育・子育て	
	小学校の教育で SNS のあり方を考えてほしい。
	子育て世代が集まって意見交換できる場があるといい。
	幼児の預かり施設を増やし、育児がしやすい町になることを望む。
⑦ 防災・安全・治安	
	空き家が多く 何とかならないでしょうか。
	各家庭が権利のみを主張し、地域での不文律が崩壊している気がします。全体主義は避けたいが、町からの干渉によって地域の規律も守られればと思います。
	防犯カメラ。町・企業・家庭、三者で設置促進。
	空き家が増えています。町として対応が必要だと思います。
	自治会への参加がしやすい対策を考えてほしいです。
	ゴミ、個人宅に各々出す方がよいのではないかな。
	自治会の減少を喰い止める事は出来ないか。
	病院の横の道路の倒木が心配。対策してほしい。
⑧ 地域経済・農業・企業誘致	
	企業誘致について。三芳町の人口が増え、市になることを願う。
	耕作放棄が増えていて困る。自分の農地の管理も大変なのに他の土地もできない。
	ルミナみよしが9月から使用できますが、2か月後に開催されますが、まだまだ未解答の項目があり、住民として心配。ルミナみよしが始まった後に、改善点などの話し合いをしてほしい。住民の素晴らしい建物なので使いやすくなることを望む。
⑨ 環境・自然・景観	
	緑地保全に関する条例を厳しく保全を保ってほしい
	三芳町中央通り西に昔のリヤカーが通れる道があるが、死地のように見える。活性化できるか。
⑩ 開発・都市計画	
	上富小への対応、事業が始まった後、柔軟な対応ができるように。
	上富小学校を道の駅に活用するのは良いと思いました。おいも街道もあるので、できたら利用したい。
	道の駅のような魅力ある施設を前向きに検討頂きたい。
	上富小学校跡地に子どもが水遊び（プール）ができる場所ができるとうれしい。